

全グ連だより 全が連だより

第 19 号 2016.3

All Nippon Association of Dance



Contents

	∟
	3
試験問題作成委員会/カリキュラム作成委員会	4
ANADアマチュア指導員資格認定委員会	5
ダンス教授所及びジュニア育成教室認定委員会活動報告	6
文部科学省が進める「土曜学習応援団」への参加に付いて	8
ウェルフェアダンス指導員認定委員会の活動報告	10
メーリングリスト・システムの導入について	1.1
「全ダ連ダンスフェスティバル」開催のお願い	14
発刊のご紹介	15
平成27年度 公益事業報告 (全ダ連だより)	16
平成27年度 賛助会員指定研修会報告	. 21
試験のご案内	. 22

発	行	日	平成	28	年3	月	25	E
---	---	---	----	----	----	---	----	---

発 行 者 公益社団法人全日本ダンス協会連合会

所 在 地 〒105-0004

東京都港区新橋 1-18-13 杉村ビル 9F

TEL 03-3506-8866 FAX 03-3506-8854

E-mail: anad@zendaren.or.jp URL: http://www.zendaren.or.jp/

営業時間 (平日)10:00~18:00

定 休 日 土・日・祝他

会長挨拶



公益社団法人 全日本ダンス協会連合会 会長 伊藤 信義

全国の会員の皆様に於かれましては、ますますご健勝に てダンスの普及活動にご尽力されている事と存じます。ま た、日頃より当連合会が行う諸行事に多大なるご理解とご 協力を賜り誠にありがたく厚く御礼申し上げます。

平成 27 年度の活動は、年初から風営法改正問題と共に 第1 歩を踏み出す事になりました。

法改正に伴い、我々に押し寄せてくる変革の波を、全ダ

連として乗り切らなければなりませんでした。

そこで理事会の中に風営法対策委員会を編成し、ダンス議連の方々を始め公安委員会の担当者や他との対外折衝に当たる事に致しました。表面化する様々な問題に対し全ダ連としての対応策を検討しながら、関係者による早朝の会議への出席や、両議員会館を駆け回る事に追われる日々が続きました。

同時に6つの小委員会を設立し、カリキュラムの再検討や自主規制の見直し、他団体との折衝等、 想定される諸問題について事前の対策を講じてきました。

法改正が終わった後は、全てを結果として受け入れるしかありませんが、その間に担当理事の皆 さんが払われた努力は並大抵ではありませんでした。

夫々に仕事を抱えながら、対策委員としての責務を全うして頂いたお一人お一人に、心より感謝 申し上げます。

私は、戦後の混沌としたダンス界に於いて、諸先輩方がダンス技術の向上に励みながらも、県警 との連携によりダンス界の正常化に努力された時代を引き継いだ一人であります。

時の変転とともに、ダンス界も様々な波風に晒されて参りましたが、ダンスを愛し取り組む心にぶれはありませんでした。

全ダ連は、今後も警察庁との連携を図り、定款の目的を忘れず、ダンスを愛するハイレベルな指導者の会であるべきであります。

全ダ連の会長という大役をお受けして以来、理事の皆様を始め多くの委員会の皆様に支えて頂き、 課題の累積する任期を何とか無事に全うできます事を心より感謝申し上げます。

任期満了まで後わずかとなりましたが、最後まで気を引き締め全ダ連の健全な発展に取り組み、 次期役員にパトンタッチしたいと思います。会員の皆様方には、今後ともご理解と共に暖かいご支 援を賜ります様、何卒宜しくお願い申し上げます。

最期に、皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、ご挨拶とさせて頂きます。

新教師協会のご紹介



九州社交舞踏教師協会 会長 石橋 麻子

昨年、10月に新しく九州社交舞踏教師協会を福岡市にて発足致しました。 今、ダンス界は常に変化し続けています。これが私達ダンス教師にとって良い方向に進むのであれば嬉しい限りですが、全てがそうだとは思えません。

教師協会を立ち上げるにあたり、沢山の先生方のお力添えを頂戴しました。 全ダ連のプロ・ダンス教師資格を継続する事を願っている先生方に、今

後、より良い環境を提供できるように、微力ながらも頑張って参る所存です。

私達、九州社交舞踏教師協会の会員は、社交ダンスの教師として、地域社会へのダンスの普及、教師一人一人の技術向上、そして何より社交ダンス教師としての品格、品位を保って努力して参ります。

どうぞこれからも皆様方のご指導ご鞭撻を賜ります様宜しくお願い申し上げます。



大分県ソシアルダンス教師協会 会長 朝久 賢一

大分県ソシアルダンス教師協会をダンス仲間と先般立ち上げさせて頂きました。

少子高齢化の時代が間違いなく到来しています。そのような中でダンス を通じて健康管理、維持に貢献できれば私たちの目的は達成できると思い ます。

NHK「今日の健康」で「社交ダンスにチャレンジする」が取り上げられました。

社交ダンスを習慣的に取り組んでいる人は認知症のリスクがより低くなっているとの説明が有りました。その要因として、ダンスを踊る事は「体を動かす」と同時に「脳の働きを活性化させる」という2つの作業を同時に行う事になり、正に「デュアルタスク」効果です。(デュアルタスク:運動+脳を使うという2つの事を同時に行う事をディアルタスクと言い、このエクササイズが脳の萎縮を抑え記憶力を改善します)

リズムに合わせ踊っている時、体を動かす前頭葉やバランスを調整する小脳に加え、音楽を聴く 側頭葉、視空間を認知する頭頂葉、視覚に関わる後頭葉なども活性化するとの事。

また、社交ダンスは男女ペアーで踊るため、相手を気遣いながら相手の動きに同調する事も注意 力や集中力を高め、コミュニケーション力も鍛えられるそうです。

社交ダンスが、脳の健康維持や健康寿命のアップに貢献できれば幸いです。

地域に親しまれ愛される協会を目指し、日々努力を怠る事無く精進してまいります。

まだまだ未熟な教会ですが、会員一同ダンスの素晴らしさを広め、普及に努める所存です。

全日本ダンス協会連合会の益々のご発展を願って新教師協会設立のご挨拶とさせて頂きます。

試験問題作成委員会/カリキュラム作成委員会



試験問題作成・カリキュラム作成 委員長 村松 昌弘

風営法改正に伴って試験問題の早急な見直しが必要にな りました。

認定ガイドブックを新しく作成するとともに、関連した項 目を新たに変えていく作業を始めています。

現時点では、風営法に関する試験問題は削除して対応を 図っています。

自主規制に関する試験問題は、自主規制要綱の見直し案が 既に常任理事会と理事会にて承認されており、これに基づ き作成されております。

昇級試験に関しては、メンバー、ライセンシエイト、フェ ロー共に、平成25年から学科試験を取りやめ、法規や一

般常識の試験も行っていません。

代わりに、ソロダンスを行った後にダンスの知識についての口答試問を実施しています。

ダンス教師はダンスの専門家です。ダンス実技の水準を上げるとともに、ダンスを踊るために必要 な知識、特に各資格に於いて重要なポイントとなる点を問題として作成しています。

メンバーはメンバーの範囲、ライセンシエイトはメンバー・ライセンシエイトの範囲、フェローは その教本全てが口頭試問の範囲となります。

昇級試験を受けることは自己のスキルアップにつながります。

伝統と実績のある全ダ連のダンス免許保持者は、指導者として充分信頼に値しますが、これに慢 心することなく、更に研鑚を積み重ねる姿勢が重要と考えます。

指導に必要な要素は正しいダンス理論であります。資格が上級へ上がるほど、ダンス実技は勿論 の事、その理論に於いて広範囲に理論武装をした事になり、自由化された環境でも大きな信用・信 頼に繋がります。

各会員の皆様には、上級試験への挑戦を忘れることなく、知識の積み重ねに努力して頂きたく思 う次題です。

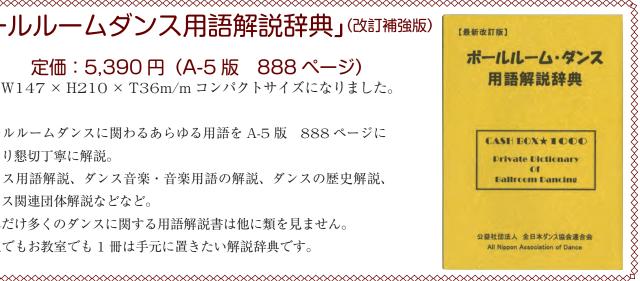
「ボールルームダンス用語解説辞典」(改訂補強版)

定価: 5.390 円 (A-5 版 888 ページ) $W147 \times H210 \times T36m/m$ コンパクトサイズになりました。

ボールルームダンスに関わるあらゆる用語を A-5 版 888 ページに わたり懇切丁寧に解説。

ダンス用語解説、ダンス音楽・音楽用語の解説、ダンスの歴史解説、 ダンス関連団体解説などなど。

これだけ多くのダンスに関する用語解説書は他に類を見ません。 個人でもお教室でも 1 冊は手元に置きたい解説辞典です。



^^^^^

ANAD アマチュア指導員資格認定委員会



ISTD 日本ダンス教師協会 会長 佐川 洋司

ANAD アマチュア指導員資格認定委員会の委員長とし て、昨年は宮崎、京都、滋賀などにも出張し、講習を行っ てきました。

風営法の4号規制が撤廃となり、ダンス教師資格がな くても、誰でもダンス教授に携わることができるように なったことから、あらゆるダンス資格の真価が問われる

時代に突入したとも言えます。つまり、プロとアマチュアの区別なく、ダンスを教えられるわけで、 本来厳格なスタイルを持つはずのダンスが「形無しのダンス」にとってかわるという時代にもな りかねないのではと危惧しております。

しかしながら、その反面、今後はアマチュア自体の層は、厚くなることが見込まれ、指導員資 格自体の意義を見直す時期に来たのではないか思います。すなわち、これまでの教師資格への登 竜門という位置づけに加え、アマチュア指導員に独自の存在意義を認める方向で、より積極的な 位置づけを行う必要があります。したがって、今後は ANAD アマチュア指導員資格を取得する ことによって、指導員自体の教授活動が発展するような、より有意義で実用性のある講習を実施 して、付加価値を高めていく必要があると思います。

私としては、指導員資格保有者にとってそれだけ魅力満載のプログラムの展開をしていきたい と考えております。今後も、皆さまのご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

各シリーズ共、スタンダード5種目、ラテン・アメリカン5種目、各2曲 計20曲を収録。初心者の方にもテンポが







ダンス教授所及びジュニア育成教室認定委員会活動報告



委員長 奥野 友子

1.この度の風営法改正に伴い、平成10年11月1日より施行されていた自主規制要綱の見直しを図りました。

巷では、風営法からダンスの文言が無くなったから自由 になり教師免許も要らなくなったのだという声を耳にしま す。それもダンス界で指導的立場におられる方からの発言 なので誠に嘆かわし限りです。

自由とは何でしょうか…。私が幼児教育の現場にいた時の事です。ある年から文部省の通達で自由保育が導入されることになりました。ある指導者は、整えた環境の中に子供達を放ちトラブルが発生した時に子供同士で考えさせるという教育論を唱え、別の指導者は、子供の年齢に応じて身に付けさせる目標を掲げ道具の正しい使い方や基本的な生活習慣は教え育てる中で自由に活動できるような指導内容を組み立てていくべきである。等々現場は混乱しました。当然のこと、3年で自由保育論は姿を消しました。自由になるほどそこに身を置いている者はしっかりした理念を持ち傘下にいる人たちへ正しい理解を深めることに努めなくてはなりません。

以上の理由に基づき私たちの公益社団法人全日本ダンス協会連合会では今まで以上に身を引き締め現状に即した「自主規制要綱」を常任理事会、全国理事会に提案して改正する運びとなりました事をご報告いたします。

主な改正点

- ・ダンス教師とは連合会が定めるダンスの教授に関する講習を受けその課程を修了した者 又はダンスを正規に教授する能力を有する者として連合会が認定した者に限定していた が、有効活用の意味合いから 【他のダンス講師 社交ダンス以外のダンス指導を行う場 合、専門のダンスに於いて正規に教授する能力を有する者】が付け加えられた。
- ・全ダ連認定ダンス教師資格証の整備
- ・全ダ連認定ダンス教室ステッカーの交付
- ・認定の取り消しに該当しない限り教授所を有効に活用することができる。
- ・認定基準は現状維持としダンスフロアの照度は 20 ルクス以下とならないような設備を 有する。しかしダンス教授所の有効活用次第ではこの限りでは無いが、それに伴い別途 許可申請が必要となる可能性を有する。

2. ジュニア育成教室の発展を願い、文部科学省の組織「土曜学習応援団」に登録いたしました。 全国の教師協会ではジュニア育成に活発に活動されているところと無関心のところと格差が目立ち ます。先進地域に学ぶことも今後の課題でありますが、平成27年の取り組みとして出前授業等の 実施を文科省に登録することにより全国ネットワークを目指したいと考えました。

平成14年に完全学校週5日制がスタートして13年が経過し、土曜日を活用して家庭や地域で どのような体験活動が取り入れられているだろうかとの考えから文科省では子供たちがより豊かに 土曜日を過ごすことができるよう、土曜日の教育活動を応援するため、多様な企業・団体・大学等 の参画を得て「土曜学習応援団」を組織し、実社会での経験や企業・団体・大学等の強みを生かし た出前授業を行う取り組みを積極的に推進されており、担当者の方から説明を受け賛同致しました。 名称にこだわらず土曜日以外の曜日、時間などは協議の上決めていけば良いのです。社交ダンスを 啓蒙・啓発するチャンスです。将来の展望を見据えボランティア活動となりますが是非皆様方の御 支援・ご協力をお願い申し上げます。

テク教本・DVD」世界的バリエーション・フィガ-

"A Technique of Advanced Standard Ballroom Figures" 教本・DVD(ミルコ&アレッシア)

> 教本: 8.640 円 ② DVD (2 枚組): 24.680 円

"A Technique of Advanced Latin-American Figures" 教本・DVD (ミハエル&ジョアンナ)

教本:9,070円

② DVD (2 枚組): 24,680 円

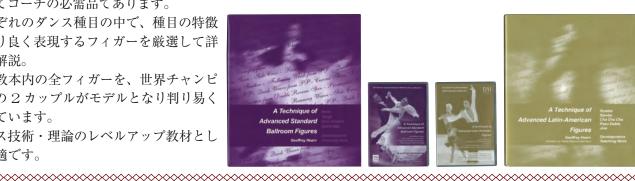
Geoffrey Hearn 氏著

この教材は、ダンサー・教師・トレーナー そしてコーチの必需品であります。

それぞれのダンス種目の中で、種目の特徴 をより良く表現するフィガーを厳選して詳 細に解説。

更に教本内の全フィガーを、世界チャンピ オンの2カップルがモデルとなり判り易く 見せています。

ダンス技術・理論のレベルアップ教材とし て最適です。



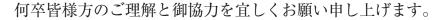




文部科学省が進める「土曜学習応援団」への参加に付いて

公益社団法人全日本ダンス協会連合会 認定ダンス教授所及びジュニア育成教室認定委員会 委員長・全ダ連副会長 奥野 友子

昨年、風営法改正問題に於ける活動の中で様々な方と面談する中、「土曜学習応援団」の話を伺い、後日、文部科学省の担当官と面談する事に致しました。説明を受ける中、全ダ連に大きな意義を持つ活動である事が判り、早速、常任理事会に於いて承認を得て、これに取り組むことに致しました。初めての取り組みである為、以下にその主旨をご説明申し上げます。





【土曜学習応援団とは】

文部科学省が推進する教育支援の一環であり、子供達が土曜日をより豊かに有効に過ごす事が出来る様に作られたシステムです。多様な企業・団体・大学等、(現在 360 件程の団体)が学習応援団に登録しており、学校からの様々な要望に対し、学習支援を始めスポーツ、文化活動、自然体験活動など、適応した人材(登録者)を出前講師として派遣するというシステムです。

登録団体は、幼・小・中・高校と大まかに 4 区分された各年代の子供達を指導対象とし、年代に 則した学習指導法をもって活動する事が要求されます。各区分の指導内容については、どの様な目 的で構成されているかを明確に理解し説明が出来なければなりません。

各地域の教育委員会などが主体となり「コーディネーター」とし派遣に関する調整を行っています。

【全ダ連の応援団登録・加盟について】

新しい"もの"と"情報"があふれる中で今の子供達は成長し、常に多くの選択肢を抱えています。 こうした子供達にダンスの楽しさを伝えるには、体で体験させ本能的欲求に訴えるのが一番効果的 な方法であると考えます。

教育の場にダンスが必須科目として採用されている今こそ、ダンスに対し理解や興味をもつ子供 達を育てるチャンスではないでしょうか。

全ダ連が全国的規模の組織であり、社交ダンスのプロ教師団体である事が、応援団登録・加盟要請の大きな要因であります。また、新風営法施行によりダンスの自由化を迎えた中で、この度の文科省の活動への参画は、公益社団法人全日本ダンス協会連合会が信頼できる組織として高く評価された事を意味します。

【指導体制の構築】

委員会では、これから発生するであろう様々な要請に対し、下記方針で組織を構築する事に致しました。

- 1. 当委員会に於いて、幼・小・中・高の段階的ジュニアダンス指導マニュアルを作成し、これを下記資格者に周知徹底を図る予定です。
- 2. 認定ダンス教室、特にジュニア育成教室の認定を受けておられる教室へ強く協力要請を行います。
- 3. ジュニアダンス普及指導員を抱えておられる教師協会及び同普及指導員へ協力要請を行います。
- 4. ホームページ等による新規「学習応援団」参加者を募集します。以上を活動の主軸と致します。
- 5.「土曜学習応援団」指導員講習会を、参加者の多い地域にて開催する予定です。遠隔地の方には、代表者に参加頂き、後日地元で講習・指導をお願い致します。
- ※全ダ連のホームージにて「土曜学習応援団」へご参加頂いた指導者名を公表致します。

【土曜学習応援団活動のメリット】

- 1.「ジュニアダンス育成教室」・「ジュニアダンス普及指導員」が、名ばかりでなく、実践にて年代別のダンス指導法を学ぶ事ができ、指導者としての幅が広がります。
- 2.「土曜学習応援団」参加をきっかけに、地元教育関係者に対する知名度が上がり、中学校に於ける保健体育でのダンス授業等へと拡大する可能性が生まれます。
- 3. 地域では活動登録者が少ない為、社会的信用に繋がります。
- 4. 新風営法施行後に於いて「土曜学習応援団」への参加は、全ダ連の会員だからこそ可能な事であり、全会員の大きな自信となります。

【新たな活動者募集】

当連合会では、「ジュニアダンス育成教室」(認定ダンス教室取得者に限る追加認定)及び「ジュニアダンス普及指導員」(所属教師協会を経由しての資格認定)の2資格がありますが、現在の登録状況では全国を網羅できる環境ではありません。

特に北海道・沖縄は両資格者とも不在です。(全ダ連ホームページ:「認定ダンス教授所一覧」・「ジュニアダンス普及指導員のご紹介」をご参照ください)

今回の「土曜学習応援団」参加を契機に、新たに活動して頂ける教室・先生方を募集致します。 参加を希望される方は下記全ダ連事務局担当までご一報下さい。

多くの皆様のご参加、ご協力をお待ち申し上げます。

敬具

問い合わせ

全ダ連本部 TEL:03-3506-8866 FAX:03-3506-8854 担当:藤井

ウェルフェアダンス指導員認定委員会の活動報告



委員長 水野 総一郎

当委員会の活動は、皆様既にご存知と思いますが、車いすダンス、ブラインドダンス、 手話ダンスを3本の柱として勉強し、福祉活動のリーダーとなるべき人材の育成を目的 としています。

更に、資格取得者が自分の活動地域に於いて新たな人材育成を行い、更に活動の輪を広げていこうとするものであり、いま、この輪が徐々に広がり始めています。

ウェルフェアの根本は、ダンスを通して障がい者や高齢者の方々と心のコミュニケーションを図る事であり、パフォーマンスではなく、心の通ったお相手を務める事にあります。

楽しい時間を共有する事で生きる喜びを始め、心身のリハビリと共に前向きな思考への転換が期待できます。当委員会のメンバーはこうした成果を肌で感じ充実感をもった活動を行っています。

また、多くの施設では、ダンスを見せて欲しいとの要求が出る為、こうした対応も我々の勤めの一環となります。あくまで福祉を目的とする為、活動の内容は大変地味であり、思いやりの心と強い忍耐力を兼ね備えていなければならない活動です。また、指導員へは、危機管理の一環として救急救命講習受講を義務付けており、毎年本部講習の中で参加者全員が受講しています。

昨年 11 月 22 日に開催された「全ダ連ダンスフェスティバル 全国大会」において、初めて当連合会の理事の皆様 や各地域からお越しの教師協会会長の皆様の前で、委員会の活動の一端をご披露することが出来ました。障害を持った 方と楽しく踊る車いすダンス・フォーメーションや、会場の全員を巻き込んでの手話ダンスなど、本来の施設訪問時に 行う内容と共に、観客へアピールする車いすダンス・デモや体全体を使っての創作手話ダンスもご覧頂きました。

多くの皆様に委員会の存在と活動内容を PR する事が出来たばかりか、お褒めの言葉も頂く事ができました。

委員会が行う外部への活動は、西東京市長も毎年列席される(第15回を迎える)「福祉ダンス&オールダンス・フェスティバル」などが有り、運営への協力と共に車いすダンス・フォーメーションや手話ダンス等を披露し、全ダ連と委員会の存在をPRしております。

現在、本部講習・研修会活動は、毎月第4日曜日に田無にて行っており、この他、秋田、長野、埼玉、足立、世田谷、神奈川、名古屋、大阪、香川、熊本など各地においてもウェルフェアの資格者が新たな人材の育成や福祉施設訪問など、独自に地域への貢献に努力しております。

委員会では、施設訪問に役立つ楽しいダンスの企画や、 多くの方に喜んで頂ける音楽での手話ダンス研究など行っ ております。下記にウェルフェアダンス特別講習会のご案 内を掲載いたします。

当委員会の活動をご理解の上、是非、ご参加を賜ります 様お願い申し上げます。



※特別本部講習会のご案内 (全ダ連のホームページ「最新情報」に詳細を掲示、ご確認下さい)

開催日時 3月 26日(土) 13:00~21:00 多目的室

27 日 (日) 9:00 ~ 17:00 会議室 A,B

会 場 西東京市障害者総合支援センター「フレンドリー」

お問い合わせ 03-3506-8866 担:藤井

両日ご参加頂いた皆様には、「コミュニティ・スタッフ」資格を発行させて頂きます。

メーリングリスト・システムの導入について

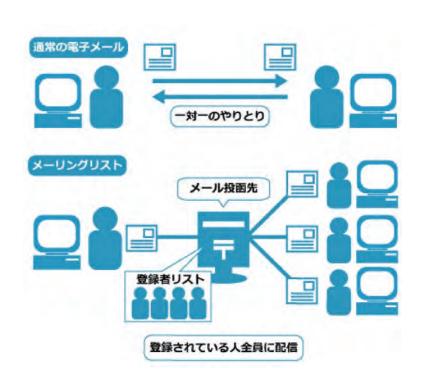


広報・出版・IT 専門委員会 岸 本 真(IT 担当)

IT 専門委員会では理事会からの指示に基づき、全ダ連専用メーリングリスト・システムを構築いたしました。

1. メーリングリストとはなにか

- ① 一件(一通)の電子メールを送信すると、登録してある多数の相手先(メンバーリスト)に その電子メールを一斉に配信する、一種の同報(同時一斉報知)システムです。
- ② ある程度のメンバー数を抱えるグループで、全メンバーに同じ内容の通知や連絡を配信するのに適したシステムで、従来は郵便や電話などによって行っていた複数の相手への同じ内容の情報伝達を、電子メールを利用した一斉配信によって置き換えるシステムです。



2. メーリングリスト導入のメリット

- ① システムの導入・運用の経費が低く、郵送料・通話料の削減が見込める(低コスト)
- ② 配達・不在などに要する時間がかからず、情報伝達が即時に行える(即時性)
- ③ 電子データとして伝わるので言葉による伝え聞きなどでの瑕疵が発生せず、複数のメンバー に全く同一の情報が確実に伝わる(情報共有性の担保)
- ④ 過去の伝達情報が電子データ履歴として完全に残り、なおかついつでも参照可能(情報の保全)

これらの要件は、一般の企業などでの業務追行においては不可欠な要素であり、今日では電子メールの利用によるコミニュケーションが当たり前になっています。従来よりもメンバー間の連携性が高く、レスポンスの良い業務追行を助けるツールとして機能することが見込めます。

3. 今回構築したメーリングリストについて

全ダ連のメーリングリストはGoogle 社の提供するGoogle Apps for Work というインターネット・クラウド・サービスの「グループ」という機能により実現しています。

ただし、全ダ連が現在契約利用中のインターネット・サービス・プロバイダである「Canonet」の 仕様上の制約をうけるため、構築可能なメーリングリストは最大3件です。

現在構築済みのメーリングリストは以下の2件です。

- ① 理事会・メーリングリスト(配信元アドレス: directors@zendaren.or.jp) 理事会を構成するメンバー宛(現在 27 名登録)に配信
- ② 理事会 / 委員会 / 地域会・メーリングリスト (配信元アドレス: committees @zendaren.or.jp) 理事会・委員会を構成するメンバー全員と、地域会の代表者宛(現在 50 名登録)に配信

現在事務局では、②に会員教師協会代表者を追加し、さらに教師資格保持者全員を対象にしたメーリングリストを構築する計画です。

4. メーリングリスト導入にあたって、協会員の皆さんへのお願い

- ① 電子メールを受け取ることができる環境をお一人お一人ご用意していただく必要があります。PC かタブレットもしくはスマートフォンなど、電子メールを受信することのできる機器と環境をご自身でご用意ください。
- ② なおかつ、何らかの個人メールアドレスを取得してください。他人と共用するアドレスや組織 (例えば教室など) のアドレスでの登録は、セキュリティ上の問題となるのでお勧めいたしません。携帯電話のキャリアメール (@docomo.ne.jp、@ezweb.ne.jp、@softbank.ne.jp など) での登録も可能ですが閲覧性に制約があるため推奨いたしません。

PC メール (gmail、yahoo mail、hotmail など、特に gmail) を推奨します。現在、よほど旧型でない限りほぼすべての携帯電話で PC メールのアドレス取得が可能です(スマホに限りません)。

- ③ 事務局より順次、協会員の皆様に各自のメールアドレスの登録のお願いを文書により送付いたします。お受け取りになる文書の書式にご記入の上、遅滞なくご返送ください。今後は会員教師協会の代表者、次いで各会員個々人の登録を進める予定です。
- ④ 今後、各職制においてメーリングリストを通じての情報伝達が発生する場合は、全ダ連事務所にご連絡ください。手順をご案内申し上げます(連絡先 fujii@zendaren.or.jp 藤井誠廣)。メール発信などのシステムの操作・運用は事務局が行います。通常は皆さんはメールを受け取るだけです。
- ⑤ 多くの協会員の皆さんは既に日常的に電子メールをご利用されていると思われますが、これからの方には「頻繁にメールを見る(メールチェックする)」ということを習慣にしていただけることを期待いたします(1日1回では不足です)。

「情報伝達(あるいは業務上の連携)を電子メールで行う」という今日では当たり前の文化 に慣れていただけると幸いです。「アナログ世代なのでデジタルは苦手」という受け止め方 が主流のようだと、その組織内でメーリングリストを導入しても無駄になってしまいます。 必要なのはメールを受信することだけです。よろしくお願いします。

以上

「全ダ連ダンスフェスティバル」開催のお願い



常務理事 野本 雅裕

昨年11月22日、内閣府の承認のもと、第1回「全ダ連ダンスフェスティバル 全国大会」を曳舟文化センターにて開催致しました。

プロ・アマミックスとトライアルを中心としながら広く一般の皆様にもご参加頂ける企画であり、将来的には全国各地での開催を目標とするイベントであります。

今大会は初めての試みでしたので問題点も多く、今後はこうした問題点を改善し、全国規模で実施していきたいと考えております。

昨年、風営法の改正により、ダンスは規制から外れる事になりましたが、ダンス界の現状は高齢化が進み、風営法改正によ

る弊害も懸念されています。

フェスティバルを通じ、広く一般へ「全ダ連」の存在を ご理解頂き、信頼を高める中でダンスの普及と健全なダン ス愛好家の拡大に努めて参りたいと思います。

ここで基本的なフェスティバルの開催区分等を皆様にご 紹介させて頂きます。

- ◆プロ・アマミックス競技部門、トライアル部門(全て 単科、出場 2 回)
- ◆レディース部門、ジュニア部門、ベーシック部門
- ◆ウェルフェア部門:車いすダンス・手話ダンス・ブラインドダンスの各部門
- ◆デモンストレーション部門
- ◆ チームエントリー部門(フォーメーション・ジャズダンス・フラダンス・ヒップホップ等)人数制限無し (全区分アマチュア・カップル出場可)
- ◆ ワンポイントレッスン
- ◆ 開催単位は、教室主催、教師協会主催、教室連合主催、 地域会主催、等。

フェスティバルについてのご相談は全ダ連本部まで



ダンスの魅力は踊る楽しみと併せ、見せる楽しみもあります。

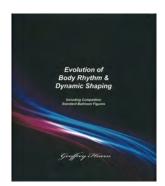
多くのご家族やご友人にもご来場頂く事ができれば、ダンスに対する認識は徐々に広まり定着するものと 考えます。

尚、11月のフェスティバルは、全国から多くの理事や教師協会長の皆様にご来席を賜りました。この紙面をお借りして厚く御礼を申し上げます。

会員の皆様には、フェスティバルの開催趣旨をご理解頂き、本来の目的が達せられます様、ご協力の程宜 しくお願い申し上げます。

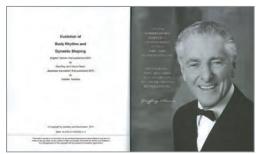
ジェフリー・ハーン著

"Evolution of Body Rhythm & Dynamic Shaping" 日本語版発刊のご紹介



この度、ジェフリー・ハーン著《エボリーション・オブ・ボディ・リズム・アンド・ダイナミック・シェイピング》が日本語版にて発刊されました。アドテク・スタンダードを更に「進化・発展」させた、略して《エボリューション(進化・発展)》は昨年英国で世界最高峰の技術書であると話題を集めた教本であります。

コンセプトは進化したボディ・リズムで踊る事であり、前著のアドテク・スタンダードから一貫して提唱している発達したボディ・リズム、それを最大限に発揮して踊るにはどうしたら良いかを丁寧に解説しています。



著者は英国式の体系化された従来のフィガー(ガイ・ハワードやアレックス・ムーアの書に代表される)を尊重した範疇であっても、この本のように発展させれば、充分アピール性の高いパフォーマンスになりえる事、そのシナリオを提供しています。

1冊 8,400円 (税抜き) 9,072円 (税込)

【特筆すべき内容】

- ◆ フィガー解説は、重力・遠心力・慣性といった物理的な助けを借りたボディのあらゆる機能を総動員して、フロア・クラフトを工夫して豊かな音楽性を表現する事を目指しています。
- ◆ ヴェニーズ・ワルツの基本となる9つのステップに付いても、ムーブメントの基本的な土台作り、レッグ・アクション(脚の動作)、フット・シェーピング(足が作る形)、ボディやヘッドを使って生じるスイング、スウェイ、フライト、ステップ・ホップ・アクション、そして美しいボディ・リズムを挙げて解説しています。特に音楽性やフレイジング(楽句とムーブメント)の重要性など、上級競技者が心得ていなければならない大切な事項が明記されています。
- ◆ 初めて、チャートへの女子スウェイが明記されており、これは常識を破る画期的な進歩です。

【世界的権威者の声】意見を集約して掲載。

- ◆ レン・アームストロング(英国ダンス議会会長、世界ダンス議会 WDC 名誉副会長、IDTA 名誉総裁)
- ※ すべての上級ダンサー、コーチ、教師、演技者は、最近のダンスの為だけでなく、未来の参考書として"絶対に持つべき本"である。
- ◆ ステファン・ヒリアー MBE & ジェニファー・ヒリアー(元スタンダード世界チャンピオン)
- ※ ダンスの技術と体の動きを言葉で変身させた教本の傑作である。この本を私たちの全生徒に推薦したい。
- ◆ ティモシー・ホーソン (元スタンダード世界チャンピオン)
- ※ どの様なボールルーム・ダンサーにも必要とされる技術的教示と共に、より加えて、アマルガメーションを正確に踊るために 更なる手助けとなる。
- ◆ ヘーゼル・ニューベリー MBE (元スタンダード世界チャンピオン・パートナー)
- ※ 今日のダンサーと指導者の為に、高度にして明解な総合的な本として1冊にまとめたものであり、模範的で、私が最も敬意を 払い称賛する本である。
- ◆ ドメニコ・ソアレ & ジオイア・チェラソーリ(元 WDSF・PRO・DV チャンピオン)
- ※ ダイナミックな動きを生み出す複雑な要素の一つ一つを判り易く説明している。指導のコツやアマルガメーションも含め、学 び続けるすべてのダンサー、教師、審査員を助ける決定版になるだろう。

◆ 社会奉仕活動事業

■東北地域会(主催者:青森県社交ダンス教師協会)

会場名 医療法人サンメディコ 介護老人保健施設 ヴィラ弘前

訪問日 平成 27年 12月 14日

訪問者 中山義宗 中山路坪子

参加者 120名

内 容 初めに施設入所者、ディサービス利用者、介護士、看護師の方々

に健康体操を行いました。その後、アマチュアとプロのデモン ストレーションを披露をし、楽しい一時を過ごしました。



■北関東地域会(主催者:栃木県ダンススポーツ教師協会)

会場名 社会福祉法人 静山会

訪問日 平成 27年 6月 15日

訪問者 髙根澤利夫 庄崎雅子

参加者 35名

内 容 最初に通所者、スタッフの方々で、座ったまま準備運動を行いました。次に障がい者の方達と車いすダンス 「ワルツ・サンバ」を踊りましたが、練習の成果が実り、楽しく上手に踊れました。

■南関東甲信越地域会 (主催者:長野県スポーツダンス教師協会)

会場名 特養老人ホーム はにしな寮

訪問日 平成 27年 9月 6日

訪問者 後藤敏一 柳原みつ子 後藤正一 宮原英子 堀内貴志子

柳沢稔 柳沢かなえ

参加者 70名

入居者と職員を対象に歩行出来る方はソシアルダンス、車い 内 容 す利用者は車いすダンスでブルースとマンボを踊りました。そ の後「ルンバ・スクエアルンバ・ワルツ・タンゴ」の各種目のデ モンストレーションを披露し、最後は参加者全員で手話ダン

スを行い楽しい雰囲気の中終了しました。



■東京地域会 (主催者:東京社交舞踏教師協会)

会場名 社会福祉法人 障害者支援施設 カーサ・ミナノ

訪問日 平成 27年 6月 24日

訪問者 深田小夜子 守屋文男

参加者 12名

内 容 身体障がい者の方々とバーディダンス、マカレナダンスの後、 車いすダンス「ルンバ・ワルツ」の講習を行いました。最後に、 車いすダンス「ワルツ・ルンバ」と社交ダンス「ワルツ・チャチ ャチャ)のデモンストレーションを披露しました。



◆ 社会奉仕活動事業

■中部地域会 (主催者:フリーダム愛知県ダンス教師協会)

会場名 尾張旭市 渋川公民館

訪問日 平成 27年 11月 29日

訪問者 緑川弥寿郎 安藤美智子 鈴木吉則 伊藤美鈴 勝田光義

赤松妙子

参加者 21名

内 容 今年で10回目となる「ブラインドダンス」の演技発表を行いました。緊張しながらも練習の成果を発揮する事ができ、ほっとしました。最後に、参加者全員で「ジルバ」を踊り盛大の中閉会しました。



■中部地域会 (主催者:愛知県ソシアルダンス教師協会)

会場名 (有) アクノス ディサービス ほのか

訪問日 平成 27年 9月 26日

訪問者 山下譲山下喜美子 木野美代子 アマチュア 5組

参加者 21名

内 容 高齢者と職員の方々を対象にプロのデモンストレーション、ア マチュアのデモンストレーションを披露しました。

その後、ハーモニカの演奏で一緒に歌をうたい、楽しい一時 を過ごしました。



■中部地域会 (主催者:愛知コルテオダンス教師協会)

会場名 グループホーム藤岡

訪問日 平成 27年 9月 1日

訪問者 筒井敏廣 近藤敏子 稲垣末男 菊池日出男 佐藤京子

参加者 50名

内 容 要介護者、認知症者、肢体障がい者の皆さんと簡単なダンス を楽しみました。その後、ブルース・ワルツ・タンゴのデモン ストレーションを披露しました。



■中部地域会 (主催者:愛知コルテオダンス教師協会)

会場名 ハートピアランド 豊田の杜

訪問日 平成 27年 10月 6日

訪問者 筒井敏廣 近藤敏子 稲垣末男 菊池日出男

参加者 75名

内 容 知的障がい者、身体障がい者、自閉症者、肢体障がい者の皆 さんとダンスを楽しみました。1組ですが、障がい者と重度障 がい者がペアになり踊れるように成長しました。その後、ブル ース・ジルバ・ルンバのデモンストレーションを披露しました。



◆ 社会奉仕活動事業

■中部地域会 (主催者:スターラインダンス教師協会)

会場名 美里幼稚園

訪問日 平成 27年 12月 14日

訪問者 武澤秀一 武澤幸子

参加者 130名

内 容 「ジルバ」のデモンストレーションを披露しました。保護者と園児でカップルを組み、簡単なステップを講習しました。その後、ピアノの生演奏に合わせて講師も一緒にダンスを踊り、最後に「ワルツ」のデモンストレーションを披露しました。

■中部地域会 (主催者:福井県ボールルームダンス教師協会)

会場名 ケアフレンズ レリエフ

訪問日 平成 27年 10月 14日

訪問者 茂和男 塚本加代子 米澤ひとみ 大崎百合子

参加者 23名

内 容 車いすの方が多かったのですが、リハビリを兼ね立って頂き、音楽に合わせて準備運動を行いました。その後「マンボ」を来り返し踊り、最後に「ワルツ・タンゴ・ルンバ・チャチャチャ」のデモンストレーションを披露しました。



■中部地域会 (主催者:福井県ボールルームダンス教師協会)

会場名 ケアフレンズ本社

訪問日 平成 27年 10月 28日

訪問者 茂和男 大崎百合子 米澤ひとみ 塚本加代子

参加者 21名

内 容 ディサービス入居者と通所者及び近隣の方々に「タンゴ・ワルツ・チャチャチャ・ルンバ」のデモンストレーションを披露しました。全員で音楽に合わせて身体を揺らす。立てる人は立って可能な方は掴り立ちして準備運動をした後に、マンボ・ジルバ・ブルースのステップを楽しく練習しました。

■近畿地域会 (主催者:南近畿舞踏教師協会)

会場名 サンヒル都(メドン、デ、サントネール泉佐野)

訪問日 平成 27年 5月 22日

訪問者 横山安男 受田真澄

参加者 120名

内 容 老人ホーム介護施設で入居者とスタッフの方々を対象に、「ふれあい親睦ダンスパーティ」を開催しました。先生方がお相手し楽しく皆さんと踊り、ボールルーム・ウォークの講習では、姿勢が良くなったと多くの方に喜んで頂きました。最後にデモンストレーションを披露し終了しました。



◆ 社会奉仕活動事業

■近畿地域会 (主催者:京都ロイヤルダンス教師協会)

会場名 医療法人啓信会 萌木の村

訪問日 平成 27年 10月 24日

訪問者 松岡徹二 瀬川滋子 市原和子 竹内正恵 竹内康隆 山本

庄子 上川昌伸 野村美咲 斉藤史江

参加者 70名

内 容 初めに「タンゴ」のデモンストレーション、次にルンバのフォーメーションを披露しました。入所者の皆さんにスクエアルンバを講習し、音楽に合わせた練習を重ねました。立てない方には、座ったままで音楽に合わせて体を動かして頂きました。その後、「ワルツ・ジャイブ・ワルツ」のデモンストレーションを披露しました。入所者や職員の方々に好評の為、年 2回の訪問が決まりました。



■近畿地域会 (主催者:西部日本ダンススポーツ協会 賛助)

会場名 ウエルネス・コート海南

訪問日 平成 27年 4月 12日

訪問者 中益子 岩橋美佐子

参加者 35名

内 容 高齢者、職員を対象に簡単にできるダンスを指導しました。初めに椅子に座って、準備運動とストレッチを 行い、ブルース、マンボ等のステップを練習しました。次に、音楽に合わせて踊りました。ふれあいを大切 に、楽しんでもらえたようです。

■近畿地域会 (主催者:滋賀県ダンス教師協会)

会場名 草津駅前ステージ

訪問日 平成 27年 4月 26日

訪問者 奥野友子 西宮和子 浅田有子 川本慶拓: やち子組

ヨシ: 矢野組 笠原禮子 野田利春 三谷恵一 居初範子

吉田 景山 永田 中川

参加者 100名

内 容 草津市主催の「宿場まつり」に参加しました。集まった皆さん にワルツの講習を行い体験して頂きました。その後、デモンス

トレーションを披露しました。



■近畿地域会 (主催者:滋賀県ダンス教師協会)

会場名 栗東市立大宝小学校

訪問日 平成 27年 7月 9日

訪問者 奥野友子 西宮和子 浅田有子 伴野育代 笠原禮子

参加者 218名

内 容 小学 3年生、4年生と保護者を対象に準備体操、ワルツ、メレンゲ、サルサの講習を行い、最後にクールダウンを行い終了しました。



◆ 社会奉仕活動事業

■四国地域会 (主催者:徳島県ダンス教師協会)

会場名 阿波農村環境改善センター

訪問日 平成 27年 6月 21日

訪問者 葛西康良 瀧倉茂: 柚美組 伊達勝彦: 井出公代組 岡組

参加者 200名

内 容 「チャリティダンスパーティ」を開催しました。年少者・中高年・障がい者の参加があり。ワンポイントレッスン、ふれあいダンスタイムで楽しく踊りました。その後、プロによるスタンダード・ラテンのデモンストレーションを披露しました。収益の一部は徳島県社会福祉協議会へ寄付しました。

■四国地域会 (主催者:高知県ダンス教師協会)

会場名 高須保育園

訪問日 平成 27年 6月 17日

訪問者 金岡真理 山本 大井 安岡

参加者 105名

内 容 プロと園児によるデモンストレーション「タンゴ・ワルツ・ルン バ・チャチャチャ」を披露しました。園児達は手拍子等で声援 してくれました。次に、子供向けの音楽で園児と一緒に妖怪体 操第一とマンボを踊り、大いに盛り上がりました。



■九州地域会 (主催者:熊本県社交ダンス教師協会)

会場名 特別養護老人ホーム マナーハウス横山台

訪問日 平成 27年 12月 15日

訪問者 水野総一郎 井上美由紀

参加者 60名

内 容 高齢者・障がい者・車いすの方々に「マンボ・ジルバ・ワルツ」 を指導し、楽しく踊って頂きました。社交ダンスを通し、心の 交流と身体のリハビリに成果がありました。最後に全員参加で 手話ダンスを行い大変盛り上がりました。要望により、毎月訪 問しています。



■九州地域会 (主催者:熊本県社交ダンス教師協会)

会場名 上天草市総合センター アロマ大ホール

訪問日 平成 28年 2月 20日

訪問者 水野総一郎 田中房枝 竹本隆治 宮本清美

参加者 600名

内 容 上天草市内公民館障害学習の発表会で、社交ダンス「タンゴ・ルンバ・ワルツ」と手話ダンスのデモンストレーションを披露しました。今までの学習成果を発揮でき、手話ダンスでは「手のひらに太陽を」の曲に合わせ、参加者全員で、楽しむ事ができました。



平成 27 年度 賛助会員指定研修会報告

◆平成27年8月3日(月) 江東区文化センターに 於いて、岸本 真 (マコト)、理佳子 (ダンススタ ジオ キシモト大船:経営) 両先生をお迎えして 指定研修会を行った。

この度の研修目的は、WDSF(旧IDSF)が2013年に英語版で出版した「World DanceSport federation」を日本語訳の教本として(公社)日本ダンススポーツ連盟が出版した事に対し情報を共有する事であった。岸本先生は、その翻訳プロジェクト・メンバーであり、内容に精通されている事から、その特徴に付いて説明をお願いした。

岸本両先生には、プロジェクターを使用しての 教本の解説を始め、従来の踊り方とダンススポー ツに於ける表現の違いを踊り分けて表現して頂 き、参加者にはとても理解し易い講習会であった。



岸本先生講習写真



平成 27 年度 賛助会員指定研修会報告



石原先生講習写真

◆平成27年9月8日(火)文京区シビックホール に於いて、石原正三先生(西荻窪:サードダンス スタジオ:経営)をお迎えしてスタンダードの指 定研修会を行った。

基本となる、立ち方、組み方を始めとする石原 先生がこれまで培ってこられた技術を惜しみなく 解説され、講習に参加した会員をフロアーに招き、 常に実践を兼ねた講習が行われた。

さすがに元全日本チャンピオンとして君臨されただけあり、容姿端麗で、SA級としての完成度の高い自信に満ち溢れた踊りに多くの会員の方が魅了された感が有った。

◆賛助会員の皆様の指定研修会は、今後とも皆様に有意義な講習会となる様、新たな知識や情報をお伝えする場として参ります。今後ともふるってご参加頂きます様宜しくお願い申し上げます。

試験のご案内

平成 28 年度 前期ダンス教師認定講習 平成28年6月9日 (木)

平成28年度後期ダンス教師認定講習 平成28年11月10日(木) 光文社SP-MOOK

第27号

指導者と競技選手から注目の二大特集&付録DWD連動

全国書店で絶賛発売中! 1080円(税込)

総力 特集 競技選手&デモ出演者必見!

> トップ選手& コーチ、ジャッジに 総力取材

スローアウェイ・ オーバースウェイは 必要か!?

トッププロが 数々と弟子入りする 「目からウロコ」のリズム習得術♪ 現役トップミュージシャン 山口新語の

「リズム・マジック」 ルンバ編





『ダンスタイム』年間購読(年間4冊、4000円税込)のお申し込み ○○ 0120・223・223 (フジサンマガジンサービス)まで ダンスの基礎をしっかり学びたい! 自信を持って指導したい! 将来はプロに! とお考えの貴方に お勧めします…



公益社団法人 全日本ダンス協会連合会 (全ダ連・ANAD) 認定のアマチュア・ダンス指導員資格!

★ANADアマチュア指導員

夢集中



公益社団法人全日本ダンス協会連合会
(All Nippon Association of Dance)
ANADアマチュア指導員資格認定委員会